

一般財団法人 伊藤忠兵衛基金

2019 年度 事業報告

目次

- | | |
|--|--------|
| 1. ごあいさつ | P2 - 3 |
| 2. 学校法人甲南学園（文化厚生事業助成先）
国際交流センター所長
中谷 健太郎
「伊藤忠兵衛基金様の文化厚生事業助成金に
心より感謝申し上げます」 | P4 |
| 3. 沿革 | P5 |
| 4. 事業活動報告（2018年度～2019年度） | P6 |
| 5. 寄附活動報告（2018年度～2019年度） | P7 |
| 6. その他報告事項 | P8 |

一般財団法人 伊藤忠兵衛基金



代表理事 伊藤 勲 ごあいさつ

2012年4月1日に一般財団法人 伊藤忠兵衛基金として新たなスタートを切ってから、本年で8年目を迎えます。

当財団は国家社会から蒙った恩恵に報いるため、昭和14年（1939年）、二代伊藤忠兵衛はじめ伊藤忠商事株式会社、丸紅株式会社がその基金を拠出して設立した財団であります。これまでも日本の文化興隆を目的として、学費補給・学術研究の助成・文化厚生事業の助成を対象とした支援を実施してまいりました。

今後は、より一層目的に沿った事業の充実を図るとともに運営管理体制を整備し、学術・文化の振興及び青少年の育成に寄与すべく努力してまいります。何卒、皆様方の一層のご指導ご支援を賜りますよう、今後とも宜しく願い申し上げます。



理事 近藤 徹 ごあいさつ

平成19年（2007年）10月に昭和報公会（伊藤忠兵衛基金）の理事を委嘱されました。

伊藤理事長とは中学一年生以来、公私共に親しくさせて頂いておりましたが、この様な素晴らしい事業を運営されておられる事は、まったく存じ上げません

でした。

2012年4月1日に一般社団法人伊藤忠兵衛基金、代表理事伊藤勲氏として新たなスタートを切られましたが、この基金は昭和14年（1939年）の設立以来81年間継続して事業をされている事は大変有意義で中々出来ない事だと思っております。

平成20年（2008年）に伊藤忠商事（株）と丸紅（株）の創業150年目にあたる年に伊藤忠兵衛記念館を見学させて頂きました。

近江商人を特徴づける「売り手よし」「買ってよし」「世間よし」を示す「三方よし」という表現は、近江商人の経営理念を表現するために後世に作られたものですが、そのルーツは初代伊藤忠兵衛が近江商人の先達にたいする尊敬の思いを込めて発した「商売は菩薩の業（行）、商売道の尊さは、売り買い何れも益し、世の不足をうずめ、御仏の心になうもの」という言葉にあるという事を知りました。又、自らの利益のみを追求することをよしとせず、社会の幸せを願う三方よしの精神は、現代のCSRにつながるものとして、多くの企業の経営理念の根幹になっている事を勉強させて頂きました。

最近では、毎年人材の養成を目的として学費の補助をしている学生との懇談会が開催されていますが、前途有望な学生との懇談会は大変楽しく有意義であります。

この伊藤忠兵衛基金から学費補助を受けた奨学生が、将来日本の社会のみならず世界の人類の発展のために活かされる事を期待しております。



「伊藤忠兵衛基金の助成に対し心より感謝申し上げます」

ご承知の通り、甲南学園はその創立の経緯より二代伊藤忠兵衛様のお力添えを得ており、そのご縁もあり一般財団法人 伊藤忠兵衛基金様より長年のご支援をいただいております。心より感謝申し上げます次第です。当甲南大学国際交流センターは、本学創立者平生夙三郎先生の「世界に通用する人物たれ」という建学の精神にふさわしい教育研究環境をサポートし、海外との学術、文化、スポーツ等の交流に必要な教育、研究、調査及びこれに付随する業務を行うことを目的としています。

送り出しプログラムとしては、交換協定校への長期留学プログラム（「交換留学」）、中長期語学留学プログラム（「奨励留学」）、語学留学と交換留学のハイブリッド・プログラム（「語学プラス交換留学」）、短期留学体験型集中科目（「エリアスタディーズ」）の計画・実施、留学生との交流会やイベントの企画、国際的研究者の講演会の主催やサポート等、学内外でのさまざまな国際交流の機会を提供しております。

また受け入れプログラムとしては「Konan Year-in-Japan Program」を、イリノイ大学を中心とするイリノイ・コンソーシアムと 1976 年より共催しており、毎年欧米圏の学生を受け入れて、日本語や専門科目の提供、生活面の全面的なサポートを行っています。また、「Asia Program」としてアジア圏より交換留學生の受け入れを行い、学修アドバイザー制度をベースに様々なサポートや交流機会を提供しております。

伊藤忠兵衛基金様からは、この「Asia Program」におけるアジア圏（主に中国や韓国）からの交換留學生に対し、多大な助成をいただいております。昨今東アジアをはじめ世界情勢が不安定であります、そのようななかあえて日本を訪れて日本について学ぶことを決心した留學生たちは、まさに日本と世界を橋渡しする人材の卵だと言えるでしょう。こうした事業にご支援いただけるのは非常に意義深いことだと我々甲南大学国際交流センターは心得ております。今後も甲南発の世界人材を全力で育成していく所存です。引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

沿革

昭和 14 年 5 月 30 日 文部省、厚生省から設立許可される。

設立発起人：

伊藤忠兵衛 伊藤竹之助 古川鐵次郎

設立時の理事：

平生鈞三郎（理事長）	村田省蔵（大阪商船社長）
松本丞治（前商工大臣）	岸本吉左衛門（前岸本商店社長）
後藤文夫（前総理代理）	伊藤忠兵衛（伊藤忠商事社長）
楠本長三郎（大阪帝大総長）	伊藤竹之助（伊藤忠商事専務）
唐沢俊樹（前警保局長）	古川鐵次郎（丸紅専務）

昭和 14 年度の第 1 回事業：

文化事業助成費：	10,000 円を支出
厚生事業助成費：	10,000 円を支出
学術研究助成費 8 件：	13,000 円を支出
学費補給 20 名：	6,600 円を支出

昭和 20 年 12 月	植場鐵三が理事長に就任
昭和 39 年 3 月	伊藤茂八郎が理事長に就任
昭和 56 年 11 月	文部省、厚生省両省の所管から、文部省の専管法人に変更が許可され、同時に当会規約の一部変更の許可を取得
昭和 58 年 10 月	伊藤恭一が理事長に就任
平成 2 年 3 月	海外留学生制度を導入し、エル・サルバドルから留学生第 1 号を迎える。
平成 6 年 10 月	宇野収が理事長に就任
平成 12 年 12 月	伊藤勲が理事長に就任
平成 24 年 4 月	内閣府より「一般財団法人」の認可を受け、財団法人を伊藤忠兵衛基金へ名称変更

事業活動報告

	(2018 年度実績)	(2019 年度実績)
学術研究事業助成	6,000,000 円	6,000,000 円
学費の補助	6,000,000 円	6,000,000 円
文化厚生事業助成	17,075,000 円	16,580,000 円
合計	29,075,000 円	28,580,000 円

2019 年（事業内訳）

・学術研究事業助成

『対象 若手研究者及び先生（講師・准教授・助教等）』

名古屋大学・京都大学・大阪大学・神戸大学の 4 大学各校 3 名計 12 名に
1 人あたり 50 万円で計 600 万円を助成。

・学費補給

『対象 博士課程後期の学生』

名古屋大学・京都大学・大阪大学・神戸大学の 4 大学各校 3 名計 12 名に
1 人あたり 50 万円で計 600 万円を助成。

・文化厚生事業助成

甲南小学校 『国際理解教育に対する助成』	: 500 万円
滋賀大学 『伊藤忠兵衛の経営活動に関する総合研究』	: 150 万円
甲南大学 『バイオナノテクノロジー研究に対する助成』	: 400 万円
甲南大学 『留学生に対する奨学金』	: 208 万円
海陽学園 『教育振興に関する寄附』	: 300 万円
公益財団法人豊郷済美会 『教育振興に関する寄附』	: 100 万円

総合計 1,658 万円

寄附活動報告

	(2018 年度実績)	(2019 年度実績)
寄附	500,000 円	2,000,000 円

2015 年より

- ・ 寄附先（一般社団法人 KIP 知日派国際人育成プログラム）50 万円

経緯

3 月 伊藤公一理事より「2008 年に発足した KIP は東京大学・一ツ橋大学・慶応大学等の日本人学生を対象に、日本のことを知り、考え、そして海外に発信出来る力の育成及びリーダーシップの育成等、次世代育成を目的とする一般社団法人。活動内容は、平均月 1～3 回の討論会や地方研修、年 1 回海外の大学にて討論会。参加者は学生中心であり、海外研修費用の捻出が難しいため寄附をしたらどうか」との提案があり、理事会・評議員会で承認をいただく。

2019 年（単年）

- ・ 寄附先（日本核酸化学会）150 万円

経緯

3 月 甲南大学先端生命工学研究所の杉本所長が会長を務める日本核酸化学会の国際会議（7 月 22 日～24 日）開催費用の捻出が難しいため、寄付の依頼があり、理事会・評議員会で承認をいただく。

その他報告事項

第9回目 奨学金受給者との懇親会を開催。

日時：2019年8月19日 17時30分～20時

会場：リーガロイヤルホテル大阪 皇家龍鳳

目的：当財団の活動内容を理解していただき、また、役員と奨学金受給者の交流、及び、奨学金受給者同士の交流を深めること。

